



2014年3月期 第1四半期決算説明

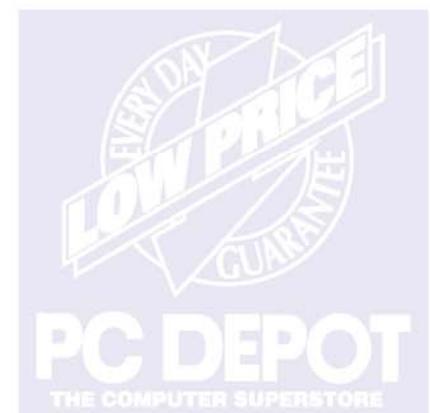


株式会社ピーシーデポ コーポレーション



JASDAQ 7618

2013年 8月 8日



決算ハイライト



過去最高益 第2四半期累計・通期予想 上方修正

1

減収増益

売上高 12,190百万円 (前年同期比 99.7%)
(既存店 前年同期比 100.2%)
営業利益 496百万円 (前年同期比 631.8%)
経常利益 528百万円 (前年同期比 453.7%)
当期純利益 365百万円 (前年同期比 824.3%)

2

売上総利益 増加

売上総利益 前年同期比 **108.2%**
売上総利益率 **34.6%**

3

サービス(SLP化) 構成比増加

サービス(SLP化) 構成比 **30.3%**

PL(連結)



増益要因 サービス(SLP化) 好調

単位: 百万円、%	2013年3月期 1Q		2014年3月期 1Q	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	12,224	108.9	12,190	99.7
商品 ^(※1)	8,706	—	8,089	92.9
サービス ^(※1)	3,025	—	3,689	122.0
インターネット関連事業(子会社)	450	96.2	371	82.4
売上総利益	3,900	114.5	4,220	108.2
販売管理費	3,822	113.3	3,724	97.4
営業利益	78	242.2	496	631.8
経常利益	116	138.9	528	453.7
当期純利益	44	141.9	365	824.3

2014年3月期 2Q累計 見込み ^(※2)		2014年3月期 通期 見込み ^(※2)	
予想	前年同期比	予想	前年比
24,100	99.7	51,400	100.1
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
750	375.2	1,520	173.4
800	306.4	1,600	171.5
520	550.2	970	217.5

(※1) 事業構造の変化を進めており、当第1四半期連結累計期間より、販売区分を変更しております。
なお、前第1四半期累計期間は同様の販売区分にて記載しています。

(※2) 業績予想を上方修正しております。(8月8日発表)

BS(連結)



売掛金 増加

単位:百万円	2013年 3月末	2013年 6月末	増減
流動資産合計	13,991	13,862	▲129
売掛金	4,099	4,303	204
たな卸資産	5,986	5,807	▲179
固定資産合計	8,942	8,651	▲291
有形固定資産	5,074	4,965	▲109
無形固定資産	518	495	▲23
投資その他の資産	3,350	3,190	▲160
資産合計	22,933	22,513	▲420
流動負債合計	9,009	8,709	▲300
固定負債合計	4,150	3,735	▲415
負債合計	13,159	12,445	▲714
株主資本合計	9,722	10,010	288
少数株主持分	0	0	0
純資産合計	9,774	10,067	293
負債・純資産合計	22,933	22,513	▲420

・MVNOによる通信端末やプレミアムサービス(月額会員制保守サービス型商品)による割賦販売の売掛金が増加

・在庫の適正化により棚卸資産減少

・棚卸資産減少による買掛金の減少
・長期借入金の減少

商品別売上高



サービス(SLP化) 売上増

単位:百万円、%	2013年3月期 1Q		2014年3月期 1Q		前年同期比	内容
売上高合計	12,224	100.0	12,190	100.0	99.7%	
ハード	6,713	54.9	6,160	50.5	96.6%	単価↓、台数↑
(パソコン本体等)	3,393	27.7	3,042	25.0	89.7%	台数↓ 前年同期比 91.1%
(周辺機器)	2,523	20.6	2,225	18.3	88.2%	販売数・単価↓
ソフト・アクセサリ	1,485	12.1	1,328	10.9	89.4%	販売数↓
中古	508	4.2	601	4.9	118.3%	台数↑
商品合計	8,706	71.2	8,089	66.4	92.9%	
サービス (インターネット関連事業等含む)	3,518	28.8	4,101	33.6	116.6%	サービス(SLP化) ↑ その他 インターネット関連事業等 ↓

(※) 事業構造の変化を進めており、当第1四半期連結累計期間より、販売区分を変更しております。
なお、前第1四半期累計期間は同様の販売区分にて記載しています。

サービス (SLP化)



構成比30%



前提比較



既存店100%、売上総利益率上昇

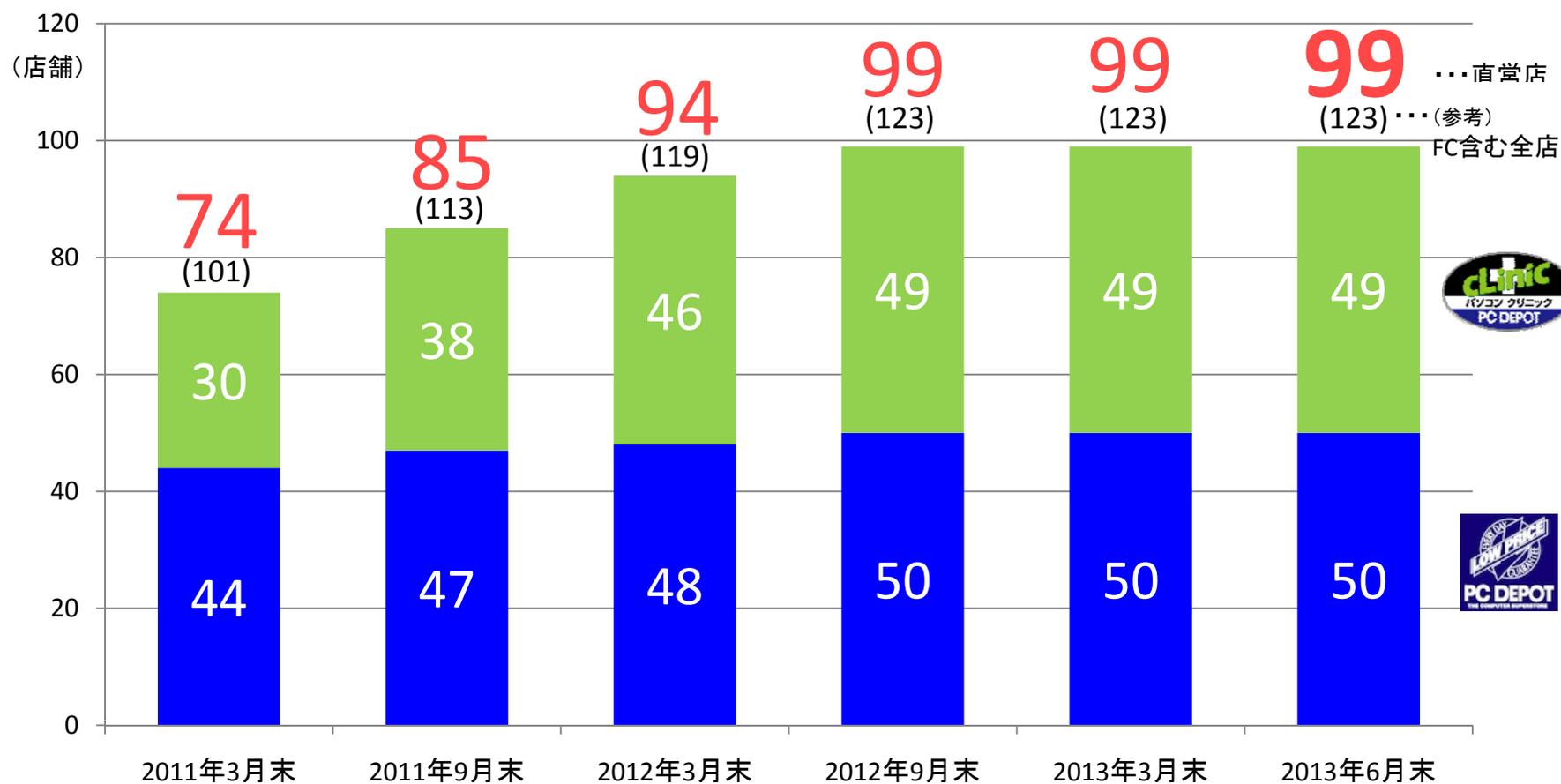
	2014年3月期		(参考)2013年3月期
	通期見込み	1Q実績	通期実績
既存店前年売上高	98% →99.4%	100.2%	94.9%
サービス(SLP化) 前年売上高	117% →120%	122.0%	121.1%
売上総利益率	33.5% →33.9%	34.6%	31.4%
設備投資額	—	0.7億円	10.2億円
有利子負債残高	—	74.1億円	78.8億円
出店	—	0店	PC DEPOT 5店舗 (直営2店、子会社3店) パソコンクリニック 3店舗

※業績予想を上方修正(8月8日発表)したため、前提も修正しております。

店舗推移 (子会社・FC 除く)



サービス拠点 関東圏99店舗





2014年3月期取り組み

2014年3月期計画



2014年3月期は2ケタ増益を計画

単位:百万円、%	2013年3月期実績		2014年3月期見込み	
	実績	前年比	見込み	前年比
売上高	51,353	103.3	51,400	100.1
営業利益	876	158.3	1,140 →1,520	173.4
経常利益	933	130.1	1,140 →1,600	171.5
当期純利益	445	159.0	700 →970	217.5

(前提)

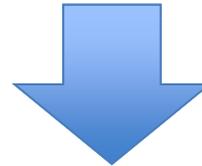
- ・既存店前年比 98%
→99.4%
(前期:94.9%)
- ・サービス(SLP化)売上高 117%
→120%
(前期:121.1%)
- ・売上総利益率 33.5%
→33.9%
(前期:31.4%)

※業績予想を上方修正しております。(8月8日発表) それに伴い、前提も修正しております。

マーケット環境

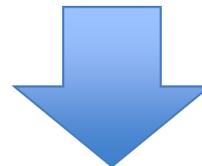


1 タブレット・スマートフォンなどのインターネットデバイスは
新商品の販売が見込まれる等
引き続き堅調



サービスの潜在需要は増加

2 マイクロソフト社 WindowsXP
2014年4月サポート終了



一定量の買替えが発生

営業方針

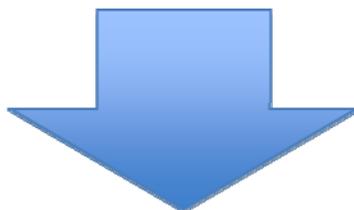


1. インターネットデバイスの取り扱いを強化
2. コンテンツやサービス等を合わせたソリューション化の推進
3. 新たなインターネットデバイスの登場に合わせて、
コンテンツとサービスを開発
4. 安心・安全をより強化したサービス商品の開発・提供
5. WindowsXPサポート終了に伴い、ハードとサービスの商品化
→新たなデバイスへのスマートサービスを提供

SLP化の推進

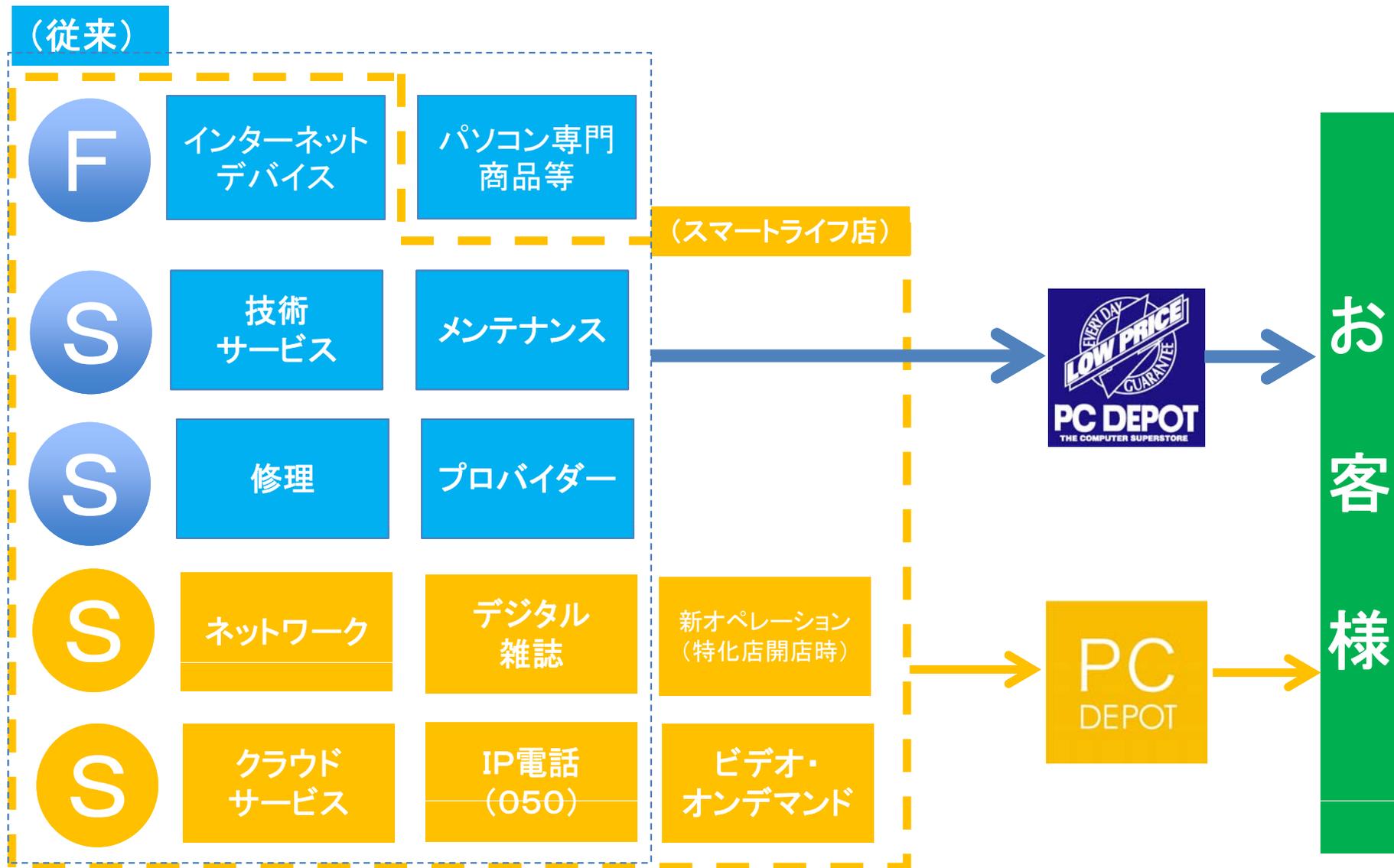
コンピュータースーパーストアからスマートライフ店へ

SLP化によりもたらされるもの



利益貢献が
「フロー」から「ストック」に変わる

SLP化 ~利益構造の変化~



SLP化のメリット

1. 利益率が上がる
2. 利益安定性が増す
3. 顧客との接触頻度↑、期間↑

スマートライフ店



テスト店 開店

START
8.9

PC
DEPOT

スマートライフ西馬込店
2013年 8月 9日(金) オープン



新店舗改装イメージ

中期目標



中期目標
經常利益率7～8%を目指す

お問い合わせ先



社長室（担当者：松尾、武田）

TEL : 045-472-9838

E-mail : ir@pcdepot.co.jp



本資料に掲載されている業績予想は、本プレゼンテーション時において入手可能な情報に基づき判断した見通しです。この中には、多分に不確定要素が含まれており、様々な要因によりこれら業績等に関する見通しとは大きく異なることがあります。以上の前提をご理解いただき、投資に関する決定をされる場合にはご自身の判断で行われるようお願いいたします。